

乗合タクシーを住民の中に定着を

市内の病院が各自で通院支援を実施中

昨年から上川田、宇楚井・原、奈良・秋塚線が復活しました。しかし、利便性や料金などの問題で利用客は伸び悩んでいるようです。

一昨年の「休止」の時には、市内路線バスの総合的な見直しとともに復活に向けて「デマンド（予約制）方式」を導入する予定でしたが、住民説明会で「電話をすることが面倒だ」などの意見が出たこと、デマンドでは、「予約」を受け付け、配車をする人員と設備が必要などの理由で、「予約制」ではなく従来型の方式で「循環型」も取り入れた路線を復活させましたが。

現在、市内の病院の中では、「福祉タクシー」や「送迎車」などで「患者の通院支援」が行なわれています。それらは皆「予約制」です。経費を押さえ、利便性を向上させるためには「予約制（デマンド）」の導入はかかせないのではないのでしょうか。



復活した乗合タクシー

また全国では、病院やスーパー、事業所と住民・行政が共同し、各々が相応の財政負担もしながら「コミュニティバス」を運行している例もあります。沼田市でもバラバラではなく共同していくことも必要なのではないのでしょうか。

日本共産党利根沼田地区委員会

新春のつどいのご案内

日時：2月12日(日)午後2時より

場所：利根沼田文化会館3階会議室



楽しいアトラクションや甘酒のサービスもあります！
最新の情勢も聞けますので、ぜひお誘いあってご参加下さいね。

介護保険料また値上げか

介護保険見直しの年です。国では、「24時間訪問サービス」の新設や「家事サービスの縮減」、介護報酬の1.2%引き上げなどが決められていますが、国庫負担の増額は無しで、負担増は結局「保険料」に転嫁されるのか。これ以上の値上げは「絶対阻止！」しましょう。

国保税を考える！不納決算額が急増！

国会でも来年度予算の審議が始っていますが、沼田市でも来年度予算の内示が2月上旬に行なわれる予定です。

国保税は赤字を理由に2～3年ごとに「値上げ」が繰り返され、所得の20%を超える世帯もあり、悲鳴が上がっています。「滞納」も増え、徴収できないという「不納欠損額」も右表のように年々増え（10年以前は100万円台だった）、累計が3億円を超え、悪循環になっています。理由はいろいろありますが、国保税が高すぎるのが一番の理由です。

年度	不納欠損額(円)	過去10年間の累計額
01(平13)	2,854,533	2,854,533
02(平14)	9,129,196	11,983,729
03(平15)	29,940,867	41,924,596
04(平16)	15,710,453	57,635,049
05(平17)	33,247,129	90,882,178
06(平18)	25,636,908	116,519,086
07(平19)	47,494,369	164,013,455
08(平20)	51,030,283	215,043,738
09(平21)	64,508,747	279,552,485
10(平22)	53,442,980	332,995,465

2012年2月5日 No.594

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料